

## ■ 自律型太陽光路面発電システムの実証実験を開始

日本パーキング株式会社 営業戦略部 小林 誠吾

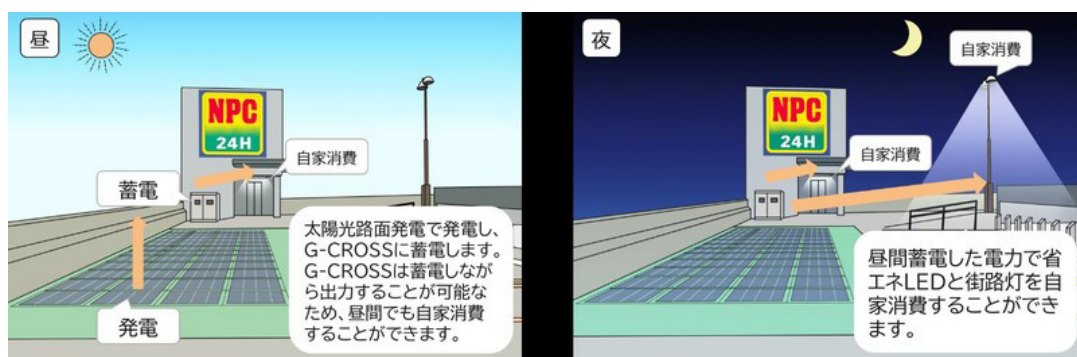
東京建物グループの日本パーキング株式会社は、太陽光路面発電パネルの開発などを行う環境プラットフォーマー(※1)のMIRAI-LABO株式会社と業務資本提携契約を締結いたしました。

MIRAI-LABOが開発する「太陽光路面パネル Solar Mobiway(以下「Solar Mobiway」)」と「リフィルバッテリー式発電機 G-CROSS(以下「G-CROSS」)」を組み合わせた自律型エネルギーシステムを、東京都八王子市のNPC24H 南大沢駅前パークイングの屋上駐車場エリアに設置し、“発電しながら電力消費可能な自律型太陽光路面発電システム”の実証実験を開始しました。



NPC24H南大沢駅前パークイングの現地写真

Solar Mobiwayの発電で得た電力はG-CROSSに蓄電され、駐車場内のエレベーターホールの照明(24時間点灯)と、街灯(夜間点灯)で電力消費する自家消費型のシステムを運用しています。期間中は、年間の発電量、蓄電状況、電力消費量の他、環境データを取得・監視しつつ、駐車場内におけるSolar Mobiwayの耐久性についての検証を行います。



自律型エネルギーシステムの運用イメージ

日本パーキング株式会社は、保有または管理する駐車場のZEP(※2)(ゼロ・エネルギー・パーキング)化を目標としており、今後運営中の平面駐車場においても実証実験を実施する予定です。また、本実証実験で得たデータをもとに、ZEP化に向け大型化と効率化を図ってまいります。

- ※1 環境プラットフォームとは、MIRAI-LABOの環境コンセプト及び環境省エネ技術を軸に、参加する事業パートナー全社の利益創出と社会的波及を目的とした環境プラットフォームを提供・運用する者のことを、MIRAI-LABOが独自に定めたもの。
- ※2 ZEP(ゼップ)とは、Zero Energy Parking(ゼロ・エネルギー・パーキング)の略称であり、消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した駐車場のことを、日本パーキングが独自に定めたもの。